

# 空調設定温度と快適性 (2/2)

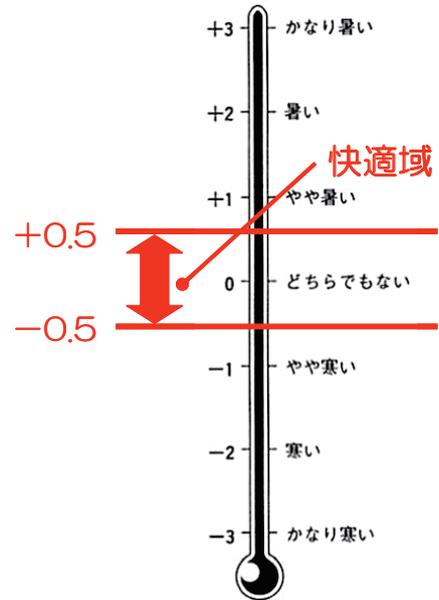
## ■快適環境の評価指標 その2

### ◆予想平均申告：PMV (Predicted Mean Vote)

着衣量、代謝量の違いも考慮して評価できる。

温熱環境の6要素を代入すると、  
その条件下で大多数の人が感ずる  
温冷感を数値として表現する指標。

ISO7730：快適域は  $-0.5 < PMV < +0.5$



図：PMVのスケール

### ◆単に空調設定温度を28℃に緩和してしまうと・・・

従来の空調方式（定風量方式）を導入している建物では、  
相対湿度が上がってしまい、PMV値が快適域より大幅に外れる可能性が高まる！

表：夏期ピーク負荷時における温熱環境について

	気温・平均放射温度 [℃]	気流速度 [m/s]	相対湿度 [%]	PMV
クールビズでの 一般的なオフィス環境条件	28	0.25	50	<b>0.607</b>
空調方式が 湿度制御できない場合 相対湿度が高くなる可能性大になる	28	0.25	<b>70</b>	<b>0.789</b>

\*着衣量 = 0.5clo (クールビズ程度)、代謝量 = 1.1met (通常の事務作業程度)

**単に空調設計温度を28℃に緩和するだけでは、  
不快と感じる可能性大！**